

第3回交通規制の緩和等検討部会及び 環境整備・交通対策推進委員会議事録

1 日時・場所 2026年1月27日（火）14:00～15:52
公民センター・1F会議室

2 出席者 印西警察署：細野交通課長
交通規制の緩和等検討部会
鈴木部会長（鈴木建材株）、阿部副部会長（株）進富）、
内田委員（ウイング株）、朴委員（丸善株）、菅原委員（田端運輸株）、
山田委員（株）和光サービス）、吳羽委員（株）YAMANAKA）
三 役：尾籠副代表理事
事務局：岡田事務局長、塚原事務局職員

3 議事事項

第1号議事 意見交換 (交通規制の考え方や規制を緩和するための条件などについて)

- ・鈴木部会長により会議が進行された。
 - ・事務局から、資料の概要を説明した。
 - ・印西警察署細野交通課長あいさつ

印西言祭者勤務乙年日。
自共工業園地協議會始

日井工事団地協議会からの要望についても、前任者から引き継ぎがめった。今ま、規制などはむしろ身に付かないが、やはり直通運行は必要とされています。

本末、規制などはなくとも良いが、やはり交通ルールは必要となってくる。県警大部交通規制調査協議しながら、緩和できるものは進めていくといい

県警本部交通規制課と協議しながら、緩和できるものは進めていきたい。

◎河原子街道（小林スタンド～㈱大和製作所）の大型貨物車通行止め規制について

- ・当該区間の企業の中には、配車される大型貨物車が特定できないため、あらかじめ通行許可をとることができずに、別の倉庫に入れて、許可がとれたら移送している状況である。このことから、通行禁止道路許可申請（新規分）の交付事務のWeb化を要望している。
⇒現在、千葉県警察では新規分はWeb対応ができていない。本部と協議していくが、印西署としても検討していきたい。
 - ・印西方面から白井工業団地に進行すると平塚地先に写真④の7時から8時30分まで大型貨物通行止めの標識が設置されているが、この場所で大型車は迂回することはできない。河原子街道については、写真③の小林スタンド交差点に設置されている大型貨物通行止めを7時から8時30分の時間規制とし、写真②の株大和製作所の先から大型貨物通行止めにしてほしいと考えているが、この場合、左折する道路はこのままでも良いか？

⇒ (警察)・左折する道路の交差部を広げれば可能だと思う。この区間を7時から8時30分に子供たちが通学していいなければ良い。また、県道市川印西線に向かう途中に大型車がリターンできる場所があれば良いと思う。

⇒(協議会)・要望に伺った際は、交差部を広げれば良いとの話しであったが、県道市川印西線に向かう途中でUターンできる場所の話しさは聞いていなかった。交差部を広げ、大型車が左折できれば良いか?。交差部を広げることについては、市に要請していきたい。白井中学校の生徒が自転車で通学している。2022年12月に行つた住民等との意見交換会では、PTA等から自転車は軽車両であることから歩道を

走行することはできないので、自転車と歩行者が通行できる歩道とガードレールを整備してほしいとの話しがあったが、市側では整備できないと話していた。

⇒ (警察)・交差部を広げ、大型車が左折できれば良い。子供と高齢者は例外的に歩道を自転車で通行できる。また、子供と高齢者以外の人でも危険回避するために歩道を通行することもできる。

・警察としては、住民等との意見交換会を開催して、お互いに解決の糸口を見出していくべきだと思う。

⇒ (協議会)・例えば、小林スタンドから(株)大和製作所の区間は、子供たちの安全確保のために、歩道を自転車でも通行できるような規制緩和は可能か?

⇒ (警察)・可能だと思う。

・警察としては、地域住民との意見交換会により、理解を得るように努力してほしいと思っている。

⇒ (協議会)・市の開催の要請をしている。市からは今年度内に開催できるように検討すると聞いている。

・工業団地協議会としては、将来的なインフラ等を考えると、河原子街道から県道市川印西線を通り国道16号に出るルートの規制を緩和してもらいたいと考えている。

◎信号機の設置について

・アクセス道路と工業団地の道路の交差部は危険だと思うが、信号機は設置しないのか?

⇒ (警察)・千葉県全体で信号機の新設は考えていない。信号機以外の方法で改善していく考えである。

第2号議事 今後の会議日程の件

・次回の会議日程は決めずに、状況に変化があった際に開催することとした。